

各 位

2011年7月7日
株式会社イオンファンタジー
代表取締役社長 土谷 美津子
(コード番号 4343)
財務本部長 新田 悟
(電話 043-212-6203)

2012年2月期 6月度の営業概況

1. 業績の進捗

6月度(2011年5月21日～2011年6月20日)の営業収益は、33億27百万円と前期比104.6%(曜日調整後104.1%)となりました。

※月次の数値は、財務諸表作成基準での月次決算を実施していないため、管理会計上(未監査)の数値です。

2. 月次売上高の前期比伸び率の状況

<全社>

(単位: %)

	6月度		当期累計(3月度～6月度)	
	全店	既存店	全店	既存店
遊戯機械売上	109.9	109.3	99.1	99.3
商品売上	88.0	88.3	89.1	89.7
遊戯施設売上計	104.6	104.2	96.8	97.1
売上高合計	104.6	104.2	96.8	97.1

※前期比伸び率の計算において、前年売上高には現在、震災の影響で休業している店舗の売上高も含まれております。

<地域事業本部別>

	6月度		
	全店	既存店	(休業店舗数)
北日本事業本部	102.7	102.0	6店
東日本事業本部	108.1	104.1	-
近畿・中部事業本部	106.5	106.7	-
西日本事業本部	107.0	103.9	-

営業店舗数	
2010年6月	333店
2011年6月	318店

※2011年2月期
新店5店、閉店21店

3. 営業の概況

6月度の売上高は、遊戯機械売上が既存店売上高伸び率109.3%と好調に推移しました。なかでも、売上構成比の高いプライズグループ、メダルグループが前年比二桁の伸びになるとともに、ファンタジースキッズガーデンを含む幼児向け時間制遊具グループが前年比30%増と当社の幼児向け分野の強化策が奏功いたしました。一方、カードグループを中心とする商品売上はカードタイトルの端境期となり、前年比88%となりましたが、想定内の数字におさまっております。

また、北日本事業本部においては、6月度中に3店舗営業を再開し、震災による休業店舗は6店舗となるなど順調に営業を再開しております。尚、営業再開店舗は「元気!笑顔!プロジェクト」を実施し、再開後2週間の乗り物や時間制遊具の無料開放等が大きな支持をいただき、岩手地区、宮城地区の営業再開店舗は前年比30%～50%の売上増となっております。

4. 出退店の状況

今期に入り(2/21～6/20)新規出店は4店舗となります。(甲府昭和店、伊丹昆陽店、大傘田店、大和店)

以上